

平成28年度 第1回学校協議会

日時 平成28年7月8日（金） 15：40～17：00

- 委員紹介
- 座長あいさつ
- 事務局自己紹介
- 校長挨拶

○協議

① 平成28年度「本校の学校経営計画」について

(校長) 就労するだけでなく、働くことの喜びを感じられるような支援をしていきたい。

中期的目標は生徒、教員、地域の3つの観点で考えている。(中期目標を参照)
挨拶をしっかり、規則正しい生活、簡単なようだが大きな課題である。また、それぞれの子どもたちの状況に応じた課題設定が大切である。本日のPTAで教員の言語環境の整備について府への要望があがっており、とりかいかでも注力していきたい。

(委員) 「交流・共同学習」は「交流及び共同学習」ではないか。

(校長) ご指摘ありがとうございます。訂正します。

(委員) 今年4月からの障害者差別解消法の施行にともない、合理的配慮という文言を入れてはどうか。

(校長) 文言には入っていないが、教職員には理解してもらっている。

② 平成29年度使用教科書選定について

(事務局) 教務部より、選定の変更点の説明。

(音楽1年、英語2、3年、生産技術科1年、生活科学科1年、ライフデザインの選定について説明。)

(委員) 以前「見てわかるビジネスマナー集」「見てわかる社会生活マナー集」を紹介したが、マルチメディアダイジー化もされていて、読みが苦手な生徒にお勧めである。

(委員) PCを使う授業はあるのか。

(事務局) 事務や情報の授業で行っており、タブレットも使用している。

生徒はスマホ等の使い方はよく知っている。

使用する上での安全な使用について学ぶ必要がある。

(委員) 情報関係の機器の使用方法等について、先生の研修は計画的に行われるか。

(事務局) 情報科より行われている。

③ 授業参観アンケートについて

(事務局) 授業参観、行事等で記入してもらう。
また、別に学校教育自己診断も行う予定。

④ 1期生の進路状況について

(事務局) 前回から要望があった就職希望者数からの就職率を今回記載した。障害者雇用を考える企業向けに来週とりかい見学セミナーを行う。

(委員) 学校経営計画にあるアフターケアの在り方について、障がい者就業・生活支援センターとの関係はどうなのか？学校は3年間のつながりがある。アフターケアにも力を入れていくべきではないか。

(事務局) スムースに就労が進む生徒は早めに障がい者就業・生活支援センターとつなげることができるが、ぎりぎりの生徒は不十分なつながりになってしまう。昨年度は13自治体の障がい者就業・生活支援センターと関わっている。夏までに卒業生全てを回り切れていない。旧担任にも協力してもらい、夏休みを利用して回り切る予定である。

(委員) 大変だと思うが、がんばってほしい。もっと家庭の支援が必要では。もっと父親が出てきてもいいのではないか。

(委員) 昨日、他の高等支援の保護者とも懇談した。障がい者就業・生活支援センターは地域によって対応が違う。我が子のことなので家庭も力を入れて、学校で見極めてもらいマッチングできているところで就職してほしい。

○今後の予定

第2回 平成28年10月28日(金) 15:40～